

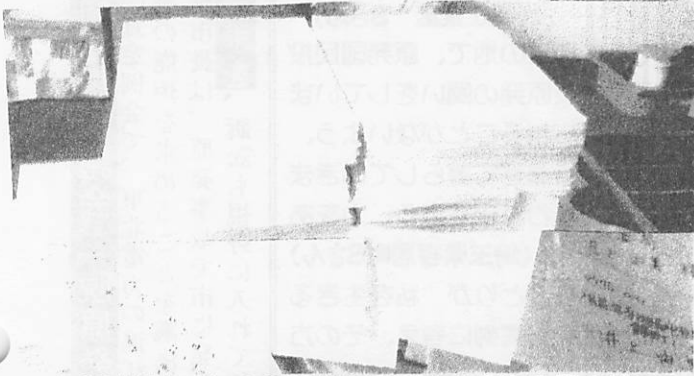
- 「はらまち九条の会」のホームページをご覧になっている方が、各地で増えているようです。
- この会報は「月3号発行」といっても、実際には3号をまとめて印刷発行、郵送しています。



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.179
2012(平成24)年 1月21日(土)発行

「除染署名」・全国から南相馬市民へ温かい励ましも <添え書きより ③>



▲12月20日に東電本社に提出した「除染署名簿」(コピー)も、1月17日に官邸野田佳彦首相に提出した「除染署名簿」も、50センチの高さになり、重さも20キロ以上もありました。署名とともに寄せられた手紙も大変な量で、南相馬市民を励ます熱く温かい内容や、また東電や国に対する怒りに溢れています。ここで紹介しているのは、その手紙のほんの一部です。

政府や東電に切実な思いが届きますように

●署名は私の友人から友人に広がって、今回は人の輪の大きさ、大切さを感じました。政府に東電に、切実な思いが届きますようお祈りしております。被災地の方々のご苦労はいかばかりかと察するに余りあります。私の実家は川内村ですが、除染がどうなっているのやら…。(千葉県船橋市 Aさん)

■福島原発事故に大きな憤りを感じています。一日も早く日本から、いや世界から原発も核兵器も無くしてほしいと切望しております。(東京都立川市 Sさん)

●早く安心して暮らせる原町にもどることを願っています。政府の動きがもどかしいです。(横浜市 Nさん)

「はらまち九条の会」ホームページを見ました

●寒くなりました。御地は藤沢より2度ほど下でしょうか。大風で放射能が、と思いますとせつなくなります。「はらまち九条の会」のホームページも見せて頂きました。皆さんそれぞれの場所で活動されていらっしゃるのですね。頭が下がり、もう少し署名を集められたらと思いました。……(神奈川県藤沢市 Kさん)

●私も南相馬市出身です。子どもたちが安心して暮らせるような町にもどるよう願っています。

……(東京都町田市 Oさん)

福島が動けば、世界が動くことに

南相馬市民の皆さんの声を待っています！

●10月の「福島の女たち100人座り込み」に続け！ということで、「全国の女たちアクション」事務局をしております。男がダメとはいいいませんが、女たちのつながりで今のおかしな社会を変えていけると信じていますし、やらねばと思います。今、「福島」の人達が動くことによって、世界中の人達が共に行動しようと思えます。あきらめることなく、強く共に行動していきましょう。皆さんの声を私たちは待っています。(渋谷区 Hさん)

●心より共感いたします。子供たちのことが一番です。カンパさせてください。(文京区 Yさん)

●社員によびかけ署名を集めました。一日も早く除染が行き届き、子供達が安心して生活できる環境が出来ることを、社員一同心から祈っております。

……(青森・秋田・岩手・山形・宮城県のみなさん)

●実はこの署名は「10・30福島集会」の時、九条の会事務局長さんからお預かりしたものです。5枚お預かりしたのですが、コピーしてたくさんの方が署名を呼びかけて、たくさんの方が署名して下さい、200名分になりました。みんな東北や福島の方々、子供たちの事をいつも思っています。

……(神奈川県川崎市 Yさん)

●今年正月の大学箱根駅伝に4年続けて区間賞で独走した、東洋大学柏原竜二選手は震災と原発事故にあった福島県いわき市出身ですが、走った後の言葉に感動しました。



「僕の苦しいのはたった1時間ちょっと。福島の人たちに比べたら、全然苦しくなかったです」と語りました。私も今後の柏原選手に応援したいです。……(群馬県高崎市 Tさん・会員)

●柏原選手の言葉に涙が出そうでした。「初代山の神」の南相馬市小高区出身の今井正人選手と同じようなすばらしい若者ですね。……(会津若松市 Sさん・会員)

■毎週街頭で脱原発のデモをしています。応援を続けます。……(横浜市 Mさん)

■1月8日、福島県を訪問した野田佳彦首相が、原発事故の中間貯蔵施設の双葉郡内設置をあらためて要請しました。それに反対している井戸川克隆双葉町長は協議会終了後に「双葉郡民を国民だと思っていますか、法の下での平等が保障されていますか、憲法で守られていますか」と尋ねた。首相は「大事な国民だと思っている」と答えました。(1月9日『河北新報』)忘れられた「憲法」を認識させる一言でした。

「さよなら原発の会」を作いませんか

●事故のあとも、半数の人たちが「原発は必要だ」と思い込んでいる世論調査の現状を何とかせねばと思い、命を奪う“原発”も“戦争”止めようと行動起こしました。日本中の原発をすべて止めても電気は足ります！全国各地に「さよなら原発」の会を作いませんか。今、私たちに出来ることは、①電力会社、政府、原子力保安院、新聞社、テレビ局、議員などに「原発止めて」と伝える。②反原発の集会、デモ、署名、意見広告などの市民運動に参加や賛同する。③選挙では反原発の候補者に投票する。④友人知人に、今の火力や水力発電と省エネの工夫で電気は足りることを伝える、ということです。(東京都あきる野市 Sさん)

●何としても脱原発を！本当に残念です。3・11以前に止められなかった無念さ。

本を出版しカンパしたり、経産省前でピラをまいたり。未だ未だ脱原発の声は足りません。…(国分寺市 Sさん)

■原発は本当にハラタツノリですね。事務局ご苦労様です。会津には「ならぬものはならぬ」という言い伝えがありますが、原発は是非か？の問題ではなく、ならぬものはならぬ事、なんですね。…(会津若松市 Aさん・会員)

●原発への日々の憤りは、美しい季節に重ねて増し、言いようのない悲しみで、自然と泣いている自分があります。…(いわき市 Aさん)

■不安の中でのご奮闘、大変なことと思います。私の務めているデイサービスセンターでも今、三陸鉄道復旧支援の第三次募金に取り組み、来年は岩手山田町の染色の作品展にも取り組めます。何でもお気軽にお申し出いただければと思います。…(岡山市 さん)

●南相馬市出身で青森に嫁いでいます。今年「はらまち九条の会」に入会しました。署名150名分送りますが、青森の人たちも応援しており、東中学校のPTAの皆さんも署名に署名に協力してくださいました。原町から二人の姪を預かり青森市立東中学校に通学させていました。(青森市 Oさん・会員)

「解除と除染」は 順序が逆です

■9月30日、国はなぜ「緊急時避難準備区域」の指定を解除したのか。私は除染が少しは進んでいるのかと思っていたのですが、南相馬市から届いた住民の要求書を見ると、子どもたちはマスクをかけて登校し外では自由に遊べないということです。「指定解除して除染は、順序が逆ではないか」と思います。署名簿を届けてくれた方が、「国は国内の秩序維持、人心の動揺回避、政治的経済的負担の軽減を優先し、この地域の住民を見捨てて日本国民と認めず、棄民したので」と言う。怒りを込めた心に応えようと思います。…(Yさん)

●被災地の逼迫した事態に対応できない政府には、誰もが怒りをかくしきれません。…(金沢市 Sさん)

《「署名」添え書きの手紙より ④》

南相馬市としてどう動くのでしょうか？

●署名のため、全国の友人知人、親族が動いてくれましたが、さて原町(南相馬市)として、どう動くのでしょうか？未来のことが見えません。私の故郷小高区片草の家、山、畑、田、ゴルフ練習場、etc.どのように放射能を考えていくのか、困惑の中にいます。東京に住む者として、耳を澄ましてこの動きに注目しています。私に出来ることは何でしょうか？

……(都江東区 Sさん)

●私たちが埼玉の地で、原発国民投票の運動や反原発の闘いをしていきます。福島を忘れることがないよう、我が身に引き寄せて暮らしていきます。正義が行われますよう、力をあわせましょう。(埼玉県寄居町Sさん)

■今、ひとりひとりが“私を生きる”ことの意味を真剣に考え、その方途をさがしだして、力強く一歩を踏み出さなければ…。(東京都 Nさん)

■少人数の署名で申し訳ございません。向寒の折、ご健勝をお祈り申し上げます。些少で恥ずかしいのですが、切手代を同封させて頂きました。

……(板橋区 Kさん)

■震災から7ヶ月余過ぎましたが、放射能の脅威はますます大きくなって行くようです。…(福島市 さん)

■除染は御地だけの問題ではなく、この対応が福島県、そして日本全体や国際的にも影響を持つものと考えます。(神奈川県大磯町Nさん)

被災者を見捨てて、再稼働や原発の輸出とは

■このような大惨事をひきおこした張本人たちが、被災者たちを見捨てて、原発の再稼働と原発の海外輸出を推進するとは！絶対に許すことはできません。私は彼らに対して戦い続ける意思に燃えだぎっております。こんなことが許されてよいはずがない！(郡山市 Nさん)

●何も知らずに、電気を使って暮らしてきた私たちにあって、福島原発の重大事故は、生き方そのものを根底からゆるがす事故でした。電力の単価など、人をあざむく為の小細工にしかすぎません。ガッチリとできあがってしまっている、ゆるぎない体制をそうたやすくはこわさせませんが、事の真相を知ってしまった限りは、命をおびやかす「核」をこの世から排除する方向へと、行動することこそ、間違った道を知らずに歩いてきてしまった私たちの責務だと思います。…(宮城県気仙沼市 Oさん)

南相馬市議会、「脱原発」を決議
十二月五日、市議会は
12月定例会で、東北電力の浪江・小高原発の建設中止と、
発の廃炉を求めることを議決。また一月五日の年頭会見で桜井勝
延市長は、原発事故で市に発生した損害について、
請求を、訴訟も視野に入れて行うことを明言しました。
東電に賠償



「さようなら原発一千万署名」 この署名は2月まで全国で展開されています！

★これは、ノーベル賞作家大江健三郎さんや坂本龍一さん、落合恵子さんが呼びかけ人の、脱原発の署名です。
★最終〆切は2月10日です。集まり次第事務局井上由美までお届けください。よろしくお願いいたします。

集会&パレード3・11さようなら原発 福島アクション

■ 3月11日(日) 集会13:00～ パレード出発15:00～

■ 会場：福島県郡山市開成山野球場

■ 内容：加藤登紀子コンサート/大江健三郎/ほか